

土壌改良をしよう。

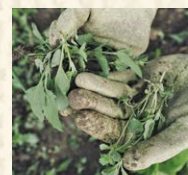
宿根草に限らず、植物にとって、土はとっても大事なものです。ちょっと重労働ですが、植える場所は20cmほどの深さをクワで耕しましょう。そして堆肥を混ぜ込んでいきます。



好きな花を選ぼう。

庭の形や広さを考えて、お花プランを練りましょう。日当たりの好きな花、半日蔭を好む花、など植え付ける位置も重要。あとは、ご自分の好きな花を、自由に選んでください。ガーデニングがますます楽しくなります。

下葉処理をしよう。



買ってきた苗をそのまま植え付けると、葉に泥が付いたり、蒸れたりします。植え付ける前に、苗の下の方の葉を落として、風通しをよくすることが大切です。病害虫の発見にもつながります。

間配りして植え付けよう。

苗が生長することを考えて、花と花との間にじゅうぶん間隔をとる。それを「間配り」といいます。高くなる花は後ろ、低い花は前、隣同士に並べる時は、少し前後にずらしてジグザグに。



これから苗を買う、宿根草チャレンジャーへのワンポイントアドバイス！

徐々に水やりを減らそう。

寒くなると、成長期のような多くの水は必要としません。少しずつ減らして、乾燥に慣らしていくと、寒さを乗り切る、強い株になります。



株は小さくコンパクトに。

大きくなった株は、冬のあいだに掘り起こして株分けなどして、整理して植えなおしましょう。ただしこれは寒さに強い花だけ。アジュガの仲間やクリスマスローズなどです。

甘やかしすぎない。

本来、耐寒性のある植物は、徐々に寒さに慣れてきます。暖かいところで甘やかさず、寒さを体験させることも大切。その品種の、耐えられる最低気温も知りましょう。



肥料は気候の良いうちに。

1年に一回、冬の間に有機肥料をあげましょう。バークたい肥や牛糞堆肥を株のまわりに、すきこみます。これで来年一年、株が元気に育ちます。気候の良い12月のうちに。



初めて冬を迎える、宿根草ビギナーへのワンポイントアドバイス！



寒い季節、地上に姿は見えなくても
暖かい土の中で春を待つ。

宿根草

ガーデン博士に聞きました
春を告げる旬の宿根草、AtoZ！



誌上17チャー

●ガーデンデザイナー
三村芳恵先生
ワコアインテリアスクール・
グリーンインテリア科卒業。
チボリ公園の花壇デザインと
植栽管理全般の担当を経て、
現在は赤磐市で「ネイチャー
フレンドリー」を運営。寄せ植
え教室なども開催。

育てやすく手間のかからない人気もの達。



宿根バーベナ

夏の暑さにも負けないで可愛い花をたくさん咲かせてくれます。



ネメシア

日本の気候に合う花。春から初夏、淡い色のかわいい小花が咲きます。



エキナセア

初夏から秋まで長く咲き続ける宿根草。とても丈夫で手入れも簡単！



サルビアレウカンサ

シルバーグリーンの葉と、晩夏から秋に咲く紫色の美しい花。



レモンバーベナ

ほのかにレモンの香りのするハーブ。庭を明るくする、きれいなグリーンです。



フロックス

群生させると見事です。暑さ、寒さにも強く、性質も丈夫です。

ひとくち
メモ

ご存知ですか？ 宿根草、多年草、一年草・二年草の違い

宿根草とは冬、地上部はなくなるが根は生きていて春になると葉がでてくるものです。一年中葉があるものでは多年草といえます。一年草は、春にタネから発芽し、初夏から夏にかけて次々に花を咲かせるが、秋には枯れてしまうもの。二年草は、春または秋にタネから発芽して冬を越し、翌年の春～初夏に花を咲かせるもので開花が翌年春になるものもあります。

倉敷、岡山、玉野に15ホール、裏面もご覧ください。

アーバンホール 葬儀・法要・ギフト

おかやま
花

アーバンホール
花紀行
シリーズ特別企画
vol.19

保存版

紀

この特別企画は、
素敵なガーデニング
情報をお届けします。

行